

R03 年度 測量士試験 問題と解答 午前 No22 (地図編集)

<R03-No22 : 地図編集 : 問題>

次の a～e の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 球面をひずみなく平面上に表す理想的な地図投影法は存在しないため、地図の目的や用途、対象地域によって投影法を選択する必要がある。
- b. 球面上の図形の面積比が地図上でも正しく表示される投影法を正積図法という。
- c. 地図上において、正角図法と正積図法の性質を同時に満足させることは理論的に可能である。
- d. 正角図法は、地球上と地図上との対応する点において、任意の2方向のきょう角が等しくなり、ごく狭い範囲での形状が相似となる図法である。
- e. 正距方位図法で作成された地図は、地図上で選んだ任意の点からの方位や距離が正しく表現されている。

1. a, b
2. a, d
3. b, c
4. c, e
5. d, e